

地区別計画 聖台地区

(1) 聖台地区の概要

地区のあらまし

聖台地区は、町域の中央よりやや西の高台に位置し、眺望のよさを誇ります。

聖台の高台地帯は、昭和12年の貯水池や用水路の整備により、農地の造成が進められ、現在もなだらかな丘陵に水田が広がる農村地帯です。

また、近年では「そば」など特産品の活用が盛んです。

平成25年の高齢化率が56.9%と町内で最も高くなっていますが、公民館を拠点に地域のつながりが強い地区です。

主な公共・公益的施設

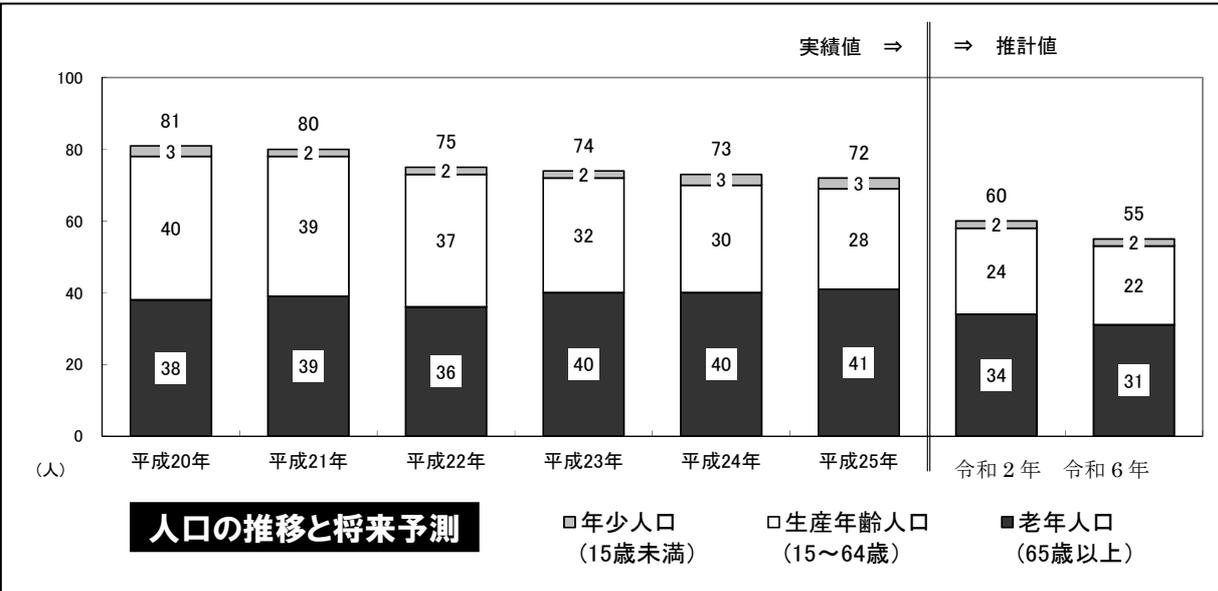
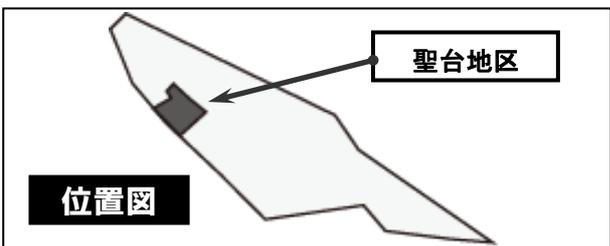
- ◇公民館
 - ・聖台地区公民館
- ◇教育・文化・スポーツ施設
 - ・聖台地区公民館グラウンド

道路・公共交通

- ◇町営バス
 - ・聖台線

河川

- ・ポン川



(2) 聖台地区の魅力

聖台地区の代表的な魅力は以下のとおりです。

1. 豊かな自然と美しい景観

緑が豊かで美しい景観のある地区です。

みんなで見つけた地区の魅力

空気がとても良い／自然が豊か／豊かな農地がある／農地が多い／秋の大雪山がきれい／大雪山がきれいなので写真スポット／高台から見る旭川市街がステキ／大雪山連峰の景観が素晴らしい景色が良い／星がきれい／夜景がきれい／5～6月頃の大雪山の景色が美しい（秋も）／眺めの良いポイントが多々ある等

2. 美味しい「そば」など特産品のある地区

美味しい「そば」など地区の特産品での交流があります。

みんなで見つけた地区の魅力

『東神楽町聖台手打ちそば研究会』を中心に地区外の人が多く集まってくる（交流）／そばを活かした盛り上がり／そば打ち研究会の皆さんががんばっている／そばが美味しい！／そばのイベントに合わせた野菜の直売所／そば食わん会（年4回）実施してそばを提供している（敬老会でも）等

3. 地域の拠点である公民館

公民館が地域の中核的な役割を担っており、公民館活動が盛んな地区です。

みんなで見つけた地区の魅力

地域の中心的な施設／公民館がきれい／環境美化の取り組みに熱心／駐車場の利用者が多い／女性愛好会・カラオケサークル等各種会合が盛んである／文化祭でそばやひょうたんの苗を提供している／全戸ひょうたん作りに参加／桜の木を植えている／公民館のグラウンドが広く活用できる等

4. 協力関係のよい地域のコミュニティ

地域の協力関係がよく、住民同士の顔がわかる地区です。

みんなで見つけた地区の魅力

住民同士のつながりが強い／冬場の女性の活動、まとまりがいい／地域の協力関係が良い／住民同士の顔がわかる／長く住んでいる人が多い／いろいろな団体がある／地域の活動が活発／料理教室（敬老会等）等

(3) 聖台地区の課題

聖台地区の主な課題は以下のとおりです。

1. 人口減少・少子高齢化の進行

人口の減少とともに少子高齢化が進んでいます。

みんなで話した地区の課題

高齢化、若い人いない／過疎化が進んでいる／平均年齢が高い／少子高齢化が顕著／子どもが少ない／若い人（30～40代）が少ない／人口増えない。減るばかり。／要因として住もうと思っても住めない／要因として農業後継者がいない 等

2. ごみ対策

ごみのポイ捨てがみられます。

みんなで話した地区の課題

ゴミのポイ捨てが多い／シール貼らず他地域の住人がゴミを捨てていく／ゴミ集荷の件、どうしても違うゴミが捨てられ残る／ゴミステーションが壊されている／地区外の人か、指定以外のゴミが捨てられている／ゴミ、例えば弁当箱や缶など特に住宅のない所に多い／対策として看板を立てる 等

3. 生活環境の向上

身近な買い物や住宅の確保、空き家対策など生活環境の向上が課題となっています。

みんなで話した地区の課題

買い物に行くのが大変／近くにお店がない／農家でないと家建てられない／空き家ある／街灯を増やして欲しい（中央12区側）／東二線が暗い（東聖10区）／除雪が悪い／お年寄り家庭に対して除雪対策が必要／横断歩道がくずれている（中央12区）／市街化調整区域のため住宅が建てられない 等

4. 交通利便性の向上

車のない方の移動手段の確保が課題となっています。

みんなで話した地区の課題

交通の便が悪い／地吹雪で視界が悪くなる／信号機が少ない／学校が遠い／ひじり野や市街地から遠い／バスの便が少ない／公民館付近の交差点の除雪によってできる雪山が危険／地吹雪対策として防風林があるが、景観を損ねる／ベストムへ行ける交通手段（本数）が少ない 等

5. 野球場の管理

野球場の周辺管理が課題となっています。

みんなで話した地区の課題

野球場の周囲荒れている／虫が多い／草刈りができてない／野球場のまわりの草木が伸びている／草木はこまめに手入れすれば、そこまで大変ではない 等

- 聖台地区の主な課題**
1. 人口減少・少子高齢化の進行
 2. こみ対策
 3. 生活環境の向上
 4. 交通利便性の向上
 5. 野球場の管理

野球場周辺の管理

道路が暗い

こみ

聖台地区公民館

聖台手打ちそば研究会

眺望のよい景観

凡例

	建物 ポイントなど	施設 大規模なもの など	ゾーン ある範囲など	ゾーン ある範囲と 境界線など
人工的なもの (建物など)	○	●	○	○
自然・緑地帯 (森林・農地など)	○	○	○	○
歴史的なもの (神社・寺など)	○	○	○	○
水路 (河川・水路など)	○	○	○	○
道路	○	○	○	○
その他の要素	○	○	○	○
カードと場所を結び 引き出し線	○	○	○	○

聖台地区全図

- 聖台地区の代表的な魅力**
1. 豊かな自然と美しい景観
 2. 美味しい「そば」など特産品のある地区
 3. 地域の拠点である公民館
 4. 協力関係のよい地域のコミュニティ

(4) 聖台地区の目標

聖台地区の目標と目標実現に向けた取り組みは以下のとおりです。**【重点】**とある項目は重点的・優先的に取り組む項目です。

■目標1 農産品・景観を生かした交流で活力ある地区をつくる

目標実現のための取り組み		
取り組み方針	取り組み内容	取り組みのあり方
(1) 「そば」を生かした地域の活性化	①そばを生かしたイベントの充実を図ります。 【重点】	住民
(2) 景観スポットのPR	①景観マップの作成をはじめ、情報発信やPRに取り組みます。 【重点】	協働
(3) 農業の振興対策	①農業後継者などの対策に取り組みます。 【重点】	協働
	②農産物のPRに取り組みます。	協働
	③「野菜ソムリエ」などの資格取得に取り組みます。 「野菜ソムリエ」の方を呼んで勉強会をします。	住民 協働

■目標2 きれいで安全に暮らせる地区をつくる

目標実現のための取り組み		
取り組み方針	取り組み内容	取り組みのあり方
(1) ごみのない地域づくり	①ごみのポイ捨てや不法投棄への対策に取り組みます。 【重点】	協働
(2) 道路環境の向上	①道路の維持管理など安全な道路環境の確保を図ります。 【重点】	行政
(3) 生活環境の向上	①街灯の整備を図ります。	行政
	②空き家対策に取り組みます。 【重点】 (削除)	協働
	②身近な移動手段の確保を図ります。	行政
	③高齢者世帯など除雪体制の強化を図ります。	協働
	④防犯に対する取り組みを図ります。	協働
	⑤野球場周辺の環境改善に取り組みます。 【重点】	行政

■目標3 公民館活動の活発な地区をつくる 公民館活動を維持する

目標実現のための取り組み		
取り組み方針	取り組み内容	取り組みのあり方
(1) 公民館活動の活性化	①「ひょうたんづくり」など特色ある活動を継続します。 【重点】	住民
	②各種公民館活動の活性化に取り組みます。 【重点】	住民
	③お盆時期など花の直売に取り組みます。	住民
	④公民館活動を通じて地区外の人を呼び込む活動に取り組みます。	協働
	⑤地域住民が若さを保てるような活動に取り組みます。	協働
	⑥子供が参加できる事業に取り組みます。(追加)	協働
(2) 公民館施設の活用	①公民館のグラウンドの活用を検討していきます。	協働

■目標4 いつまでも住み続けられる地区をつくる

目標実現のための取り組み		
取り組み方針	取り組み内容	取り組みのあり方
(1) 公民館・町内会の再編	①公民館の枠組みについて検討していきます。	協働
	②町内会の再編について検討していきます。(削除)	協働
(2) 高齢者のコミュニティ機能の向上	①地域内での支えあいに努めます。 【重点】	住民
(3) 移住環境の整備	①移住者を受け入れる環境整備に努めます。(追加)	行政
	②空き家対策に取り組みます。(追加)	協働

資料

(1) 策定経緯

平成 25 年	
12 月 18 日	<p>■第 1 回地区別まちづくり会議 時間：18:25～20:45 場所：聖台地区公民館 参加者：18 名（職員 9 名、委員 9 名）</p> <p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none">・情報地図の作成・地区の魅力と課題の検討
平成 26 年	
1 月 27 日	<p>■第 2 回地区別まちづくり会議 時間：18:25～20:30 場所：聖台地区公民館 参加者：17 名（職員 8 名、委員 9 名）</p> <p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none">・魅力と課題の整理
2 月 20 日	<p>■第 3 回地区別まちづくり会議 時間：18:00～20:10 場所：聖台地区公民館 参加者：19 名（職員 9 名、委員 10 名）</p> <p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none">・目標、取り組み内容の検討
3 月 18 日	<p>■第 4 回地区別まちづくり会議 時間：18:00～20:20 場所：聖台地区公民館 参加者：19 名（職員 9 名、委員 10 名）</p> <p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none">・目標、取り組み内容の検討・役割分担の検討・地区計画全体の報告

(2) 更新経緯

平成 30 年	
1 月 29 日	<p>■第 1 回地区別まちづくり会議 時間：18:00～20:45 場所：聖台地区公民館 参加者：19 名（職員 9 名、委員 10 名）</p> <p>■内容 ・現状の課題確認、進捗状況の確認、目標・取組内容・役割分担の検討</p>
2 月 27 日	<p>■第 2 回地区別まちづくり会議 時間：18:00～19:15 場所：聖台地区公民館 参加者：20 名（職員 10 名、委員 10 名）</p> <p>■内容 ・計画の修正事項の確認 ・重点項目の検討・確認</p>
令和 3 年	
月 日	<p>■第 1 回地区別まちづくり会議 時間：18:00～00:00 場所：聖台地区公民館 参加者：00 名（職員 10 名、委員 10 名）</p> <p>■内容 ・現状の課題確認、進捗状況の確認、目標・取組内容・役割分担の検討</p>
月 日	<p>■第 2 回地区別まちづくり会議 時間：18:00～00:00 場所：聖台地区公民館 参加者：00 名（職員 10 名、委員 10 名）</p> <p>■内容 ・計画の修正事項の確認 ・重点項目の検討・確認</p>

(3) 地区別まちづくりに向けた意見・提言

よりよい地区づくりを進めるため、地区別まちづくり計画で定めた目標の実現に向け、目標ごとの取り組み方針に基づき、今後、具体的な取り組みを検討・実行していく必要があります。

こうした目標や取り組み方針、取り組みのあり方を定めるための検討を進める中で、具体的な取り組みを実行する上で重要な意見・提言が出されています。そうした意見・提言をまとめると以下のとおりとなります。

○計画策定時

1. 取り組み方針・取り組み内容に関する意見・提言

■目標1 農産品・景観を生かした交流で活力ある地区をつくる

(1) 「そば」を生かした地域の活性化

①そばを生かしたイベントの充実を図ります。

- ・そば打ちを体験学習や交流の場にする。
- ・消費者と生産者の交流を図る。

(2) 景観スポットのPR

①景観マップの作成をはじめ、情報発信やPRに取り組みます。

- ・情報発信方法として、公民館前看板と同様のものがよい。

(3) 農業の振興対策

②農産物のPRに取り組みます。

- ・イベントとあわせた農産物の販売やPRを行う。

■目標2 きれいで安全に暮らせる地区をつくる

(3) 生活環境の向上

③身近な移動手段の確保を図ります。

- ・買い物や公共施設に行きやすいバス等の運行方法の検討を行う。

⑤防犯に対する取り組みを図ります。

- ・公民館駐車場の不審車など防犯に対する取り組みが必要である。

■目標3 公民館活動の活発な地区をつくる

(1) 公民館活動の活性化

- ・他の公民館友愛クラブとの交流も行ってみたい。

■目標4 いつまでも住み続けられる地区をつくる

(1) 公民館・町内会の再編

- ・すべての行政区において共通の悩みであり、今後10年以内には避けることができない問題である。

(2) 高齢者のコミュニティ機能向上

- ・高齢者向けの集合住宅等が地域内にもあればと思う。

2. 取り組みのあり方・協働に向けた意見・提言

■目標1 農産品・景観を生かした交流で活力ある地区をつくる

(2) 景観スポットのPR

①景観マップの作成をはじめ、情報発信やPRに取り組みます。

2. 取り組みのあり方・協働に向けた意見・提言

→住民は景観のよい場所の情報提供を行う。プロの写真家なども地区にいたので、意見をいただく。公民館に写真を掲示するなどできる。行政で景観のよい場所に看板を立てるなどを行う。

(3) 農業の振興対策

①農業後継者などの対策に取り組みます。

→新規就農しやすくなるように住民・行政お互いの得意分野を持ち寄り、知恵を出し合いたい。

→この地区で農業を行うことの魅力などの情報を住民が提供し、行政はそれを広くPRする。

②農産物のPRに取り組みます。

→行事を開催する際には直売所も設けてみたい。地域の人には野菜を多めに作ってもらおうよう依頼してある。

→広報、宣伝といった他の地域の人への周知を行政に頼みたい。

→住民は直売所で直接PRする。客からの意見も直売所で吸い上げられる。現状では行政や農協は農産物のPRが足りない。珍しい野菜を作っている農家やおいしいお米をもっとPRすべき。

③「野菜ソムリエ」などの資格取得に取り組みます。

→住民は自ら資格取得を行うが、簡易な取得方法などを行政に調べてほしい。

■目標2 きれいで安全に暮らせる地区をつくる

(1) ごみのない地域づくり

①ごみのポイ捨てや不法投棄への対策に取り組みます。

→住民はごみ拾いや、ポイ捨て場所の情報提供などを行う。行政はごみの廃棄箇所に看板設置を行う。監視カメラの設置も効果的である。

→空家対策は住民からの連絡も大きな支えとなるので協働が大切である。

(3) 生活環境の向上

②空き家対策に取り組みます。

→住民は空き家情報などを提供し、行政は入居希望者の募集などを行う。

③身近な移動手段の確保を図ります。

→町バスの運行状況を整備し、住民同士の乗合制度が上手くいけば、住民も協力できる。

④高齢者世帯など除雪体制の強化を図ります。

→高齢者世帯への除雪・呼びかけはご近所同士で助け合いが必要である。

→住民同士で協力して、除雪の大変な家を助けに行ければよい。

⑤防犯に対する取り組みを図ります。

→住民は不審者などの情報を提供する。行政は場合によっては情報を周知する。

⑥野球場周辺の環境改善に取り組みます。

→行政は所有者に環境改善を訴える。直接住民が通報する場合もある。

■目標3 公民館活動の活発な地区をつくる

(1) 公民館活動の活性化

②各種公民館活動の活性化に取り組みます。

→基本的に住民が行うものだが、講師派遣が必要な活動など行政も協力してほしい。

④公民館活動を通じて地区外の人を呼び込む活動に取り組みます。

→そば打ち研究会のイベントなど現在も行っているが、行政にもPRをお願いしたい。また、夏にビールパーティーのようなものも開ければよい。

⑤地域住民が若さを保てるような活動に取り組みます。

→ボーリングやスリッパ卓球など行ってはどうか。行政からも事例などの情報を提供してほしい。

(2) 公民館施設の活用

①公民館のグラウンドの活用を検討していきます。

→集合住宅を建てるとすれば行政だが現状では難しい。庭園（風のガーデンのような）を整備するのもよいと思う。

1. 取り組み方針・取り組み内容に関する意見・提言

■目標1 農産品・景観を生かした交流で活力ある地区をつくる

(1) 「そば」を生かした地域の活性化

①そばを生かしたイベントの充実を図ります。

- ・6月から10月までの間、「そば喰わん会」と「野菜直売会」を実施している。

(2) 景観スポットのPR

①景観マップの作成をはじめ、情報発信やPRに取り組みます。

- ・観光パンフレット「今日は東神楽で」を制作して聖台地区からのビューポイントを紹介した。
- ・その一方で、「観光パンフレットを初めて見た」「ビューポイントの位置がわかりにくい」「ビューポイントの選定や写真撮影は誰がしたの？」等、制作にあたって地域と協議する必要性が浮き彫りとなった。

(3) 農業の振興対策

①農業後継者などの対策に取り組みます。

- ・聖台地区だけではなく全町的な取り組みが必要である。

■目標2 きれいで安全に暮らせる地区をつくる

(1) ごみのない地域づくり

①ごみのポイ捨てや不法投棄への対策に取り組みます。

- ・看板の設置や継続的な清掃活動により、ポイ捨てや不法投棄は減ってきている。
- ・地域外の人がゴミ処理券を貼らずにゴミを捨てていくケースが見られる。

(3) 生活環境の向上

①外灯の整備を図ります。

- ・外灯の電気代の地元負担が多額なので外灯の電球をLEDに更新してほしい。

②空き家対策に取り組みます。

- ・農業後継者がいない家も多いので、土地利用が制限される市街化調整区域の指定解除も含めて、地区の人口減少や高齢化に対する取り組みをすすめてほしい。

③身近な移動手段の確保を図ります。

- ・デマンドバスの試験運行が行われたが利用しにくかった。

⑥野球場周辺の環境改善に取り組みます。

- ・球場内は管理されているが、周囲は雑草が多く虫も発生している。

■目標3 公民館活動の活発な地区をつくる

(1) 公民館活動の活性化

①「ひょうたんづくり」など特色ある活動を継続します。

- ・収穫感謝祭でひょうたんの品評会を行っている。ひょうたんづくりは地域全体で取り組みができる大切な活動である。

②各種公民館活動の活性化に取り組みます。

- ・以前と比べ縮小された活動（地区運動会）もあるが、公民館活動への出席率は高く維持していきたい。

(2) 公民館施設の活用

①公民館のグラウンドの活用を検討していきます。

- 面積が広いので草刈りなどの管理が大変。

■目標4 いつまでも住み続けられる地区をつくる

(1) 公民館・町内会の再編

- ・高齢化・人口減少が進行する中、現状の枠組みのまま活動を継続していくことができるのか。

(2) 高齢者のコミュニティ機能向上

削除した取り組み内容 高齢者同士が交流できるような活動に取り組みます。

・老人クラブの解散がこの取り組み内容策定の背景にあったが、地域全体が高齢化していて、公民館活動そのものが高齢者同士の交流を図るコミュニティとなっているため、取り組み内容から削除する。

2. 取り組みのあり方・協働に向けた意見・提言

■目標1 農産品・景観を生かした交流で活力ある地区をつくる

(2) 景観スポットのPR

①景観マップの作成をはじめ、情報発信やPRに取り組みます。

→プロの写真家と一緒に聖台地区のビュースポットめぐりを行いました。そば喰わん会の会場に写真を展示して聖台地区をPRしたい。

(3) 農業の振興対策

①農業後継者などの対策に取り組みます。

→他の自治体の新規就農に対する支援を参考にして事業をすすめてほしい。

②農産物のPRに取り組みます。

→野菜直売会で地場産農作物のPRを実施できている。

③「野菜ソムリエ」などの資格取得に取り組みます。

→婦人部の行事などに野菜ソムリエをお招きしてみてもどうか。

■目標2 きれいで安全に暮らせる地区をつくる

(1) ごみのない地域づくり

①ごみのポイ捨てや不法投棄への対策に取り組みます。

→住民は春と秋の年2回、ごみ拾いを実施しています。

(3) 生活環境の向上

②空き家対策に取り組みます。

→空き家を貸すか売るかの情報提供は、所有者でなければできないのではないかと。

③身近な移動手段の確保を図ります。

→町バスの運行状況を整備し、住民同士の乗合制度が上手くいけば、住民も協力できる。

④高齢者世帯など除雪体制の強化を図ります。

→住民同士で協力して、除雪の助け合いをしている。

⑤防犯に対する取り組みを図ります。

→住民は不審車両などの情報を提供することはできる。

⑥野球場周辺の環境改善に取り組みます。

→町は現状を確認して、管理者に強く指導してほしい。

■目標3 公民館活動の活発な地区をつくる

(1) 公民館活動の活性化

①「ひょうたんづくり」など特色ある活動を継続します。

→収穫したひょうたんの活用法を学びたい。

②各種公民館活動の活性化に取り組みます。

→健康づくりに関する事業は関心が高いので、公民館で健康運動教室に取り組んでほしい。

③お盆時期など花の直売に取り組みます。

→花を育てて野菜直売会に合わせて花の直売を実施した。取り組みが地域全体に広がれば花の種類も増えるのでは。

④公民館活動を通じて地区外の人を呼び込む活動に取り組みます。

2. 取り組みのあり方・協働に向けた意見・提言

→「そば喰わん会」と「野菜直売会」には毎回 200 人程度の来客があり、町内外に聖台地区のPRができています。

⑤地域住民が若さを保てるような活動に取り組みます。

→取り組みのあり方を協働へ変更し、町は事業の企画や講師の派遣などの支援をしてほしい。

(2) 公民館施設の活用

①公民館のグラウンドの活用を検討していきます。

→災害時に避難場所として活用できるような整備が必要。

■目標4 いつまでも住み続けられる地区をつくる

(2) 高齢者のコミュニティ機能向上

②地域内での支えあいに努めます。

→高齢者世帯の除雪、回覧や配布物を配る際に見守り（安否確認）ができています。

→夏場の見守りが手薄。年間通して行えるよう配慮が必要。

※他にもたくさんの貴重なご意見をいただきましたが、一部割愛させていただきます。

○令和3年度計画更新時

1. 取り組み方針・取り組み内容に関する意見・提言

■目標1 農産品・景観を生かした交流で活力ある地区をつくる

(1) 「そば」を生かした地域の活性化

①そばを生かしたイベントの充実を図ります。

・新型コロナが流行する前は有線放送などで周知し、年4回ほど何かとイベントをしていた。今後も、コロナの状況を見ながら、イベントができたらと考える。

(3) 農業の振興対策

③野菜ソムリエの方を呼んで勉強会をします。

・身近に野菜ソムリエの方がいないため、役場と相談しながら進めていきたい。

■目標2 きれいで安全に暮らせる地区をつくる

(1) ごみのない地域づくり

⑥野球場周辺の環境改善に取り組みます。

・球場の周辺の土地は、役場や龍谷高校、土地改良区の所有地であったりと区別が難しい。草が生い茂っているのは、主に龍谷高校の土地だと思う。

■目標3 公民館活動の活発な地区をつくる

(1) 公民館活動の活性化

⑥子供が参加できる事業に取り組みます。

・【追加】子供と親子で参加できる公民館活動や他の地区と交流し聖台地区の良さを体験してもらいたいとの意見から新たに追加

■目標4 いつまでも住み続けられる地区をつくる

(3) 移住環境の整備

①移住者を受け入れる環境整備に努めます。

②空き家対策に取り組みます。(変更)

⇒【追加】地区会議の中で都市計画により住宅を建てられないなどの話が出ていたことを受け、様々な制度の活用や改正により移住環境を整備できないか検討する。

- ・ 住民は何もできない。旭川に近くて限界集落なんてありえない。
- ・ 行政の取り組みを何もしないでできないというのではなく、改正に向けて頑張ってもらいたい
- ・ なぜ改正できないのか、できることはなにがあるのか、制度の詳しい説明がほしい
- ・ 地域住民がこの地区で楽しく過ごしていければ、移住者が増えることにつながる

※他にもたくさんの貴重なご意見をいただきましたが、一部割愛させていただきます。